

2026年度

スタートカリキュラム



江別市立大麻東小学校

テーマ

はじめまして、小学校！

学校の様子や生活の仕方を知り、期待をもって楽しむ。また、小学校入学により新しく出会った教師や友だちとともに元気に生活する。

ねらい

- 小学校の生活環境になじみ、安心して楽しく生活する。
- 朝の準備の仕方を知り、自分で取り組もうとする。
- 交通のルールを守り、安全に登下校する。
- 教師や友だちの名前を知り、あいさつをしたり、言葉をかわしたりする。

幼・保・こども園の経験をもとに

- 基本的な生活習慣を身につける。
- 一日の流れを知り、時計を見ながら見通しをもって生活する。
- ふれあい遊びや集団遊びを通して、かかわりを深める。
- 自分が感じたことや体験したことを言葉で相手に伝える。

生活の視点

なかま

- 新しい友だちがいっぱいいることを知る。
- 同じクラスの子どもたちと積極的に話し、友だちになろうとする。
- 教師が話す時には、聴く姿勢を保ち、話の内容をしっかりと理解する。

げんき

- 小学校での生活習慣やきまりを理解し、楽しい学校生活をスタートさせる。
- 小学校生活に必要なものを知り、使い方を身につける。
- 小学校での一日の流れを理解する。

じぶん

- 教師や友だちについて知る。
- 今までの経験をもとに、新しいことにも興味・関心をもつ。
- 小学校での新しい生活に、楽しみや期待をもち、さまざまな人やものにかかわろうとする。
- 自分の思いや考えを、はっきりと相手に伝わるように自分の言葉で伝える。

まなび

- 学校生活に必要なさまざまなことを知り、前向きな姿勢で取り組む。
- 学校生活で新たに学ぶことや、初めて知ることに対して、喜びを感じ、楽しんで取り組もうとする。
- 正しいえんぴつのもち方や文字の書き方、正しい発声の仕方を身につける。

家庭・地域

- 学年・学級通信を通して子どもの様子を知らせたり、行事や持ち物などを知らせたりし、子どもがスムーズに学校生活を送れるようにする。
- 地域ボランティアの人との連携を図り、登下校の子どもの安全を確保する。

幼・保・こども園

- 幼・保・こども園での一人一人の様子や家庭環境などを情報交換する。

小学校

- 小学校全体で1年生を迎え、見守る体制づくりをする。

指導のポイント

小学校の楽しさを伝える

基本的な生活習慣や
基本姿勢を身につけさせる

新しい友だちを
つくれるようにする

- 授業や生活の中で、**遊びの要素を取り入れながら活動し**、緊張感を和らげながら楽しむようにする。
- 授業や遊び、生活の中で、**子どもができたことを認め、自信をもたせる。**
- 元気にあいさつや返事ができるように指導する。
- 席を立つ時は椅子を入れる、靴箱に靴を入れる時はかかとを揃える、かばんやロッカーの使い方など、**基本的なことを伝える。**
- 自分勝手な行動を見逃さず、注意・指導する。
- クラスで自己紹介をし、**友だちを知るきっかけをつくる。**
- **体育や生活の時間に、集団遊びを取り入れ**、クラスの友だちとのつながりをつくる。
- 下校時に同じ地区の友だちの顔や名前を覚えるように声をかける。

時間割 4月7日(火)～10日(金)

	6月	7火	8水	9木	10金
朝学習			・ 6年生との交流(読み聞かせ・手遊び・効果・学校クイズなど) ・ 朝の活動(登校したら) ①ランドセルを机に置き、ジャンパーと帽子をコート 掛けにかける。 ②提出物を所定の場所に出し、学習用具を机の中に入れ、ランドセルをしまふ。(ロッカーの使い方) ③朝のあいさつ・今日の連絡・健康観察・連絡帳の内容確認 (下校先の確認)		
1			こくご	せいかつ	しよしや
			はるがきた	せいかつかがはじまるよ	座り方・立ち方
2			せいかつ	1日の生活の流れ	おんがく
			せいかつがはじまるよ		・手遊び歌、校歌、ちょうちょなど
3			こくご	ぎょうじ	さんすう
			はるがきた	二計測	くらべたことがあるかな
長休み			ふれあい遊び・集団遊び(児童観察)		
4			がっかつ	おんがく	ずこう
			がっこうのことをしろう	手遊び歌、校歌、ちょうちょなど	すきなかたちやいろなあに
5			学校の約束、交通ルール	どんなうたがあるかな	線の引き方、色の塗り方
			下校の並び方、歩き方		
6		入学式	下校指導	下校指導	下校指導
			・ 下校先(班)の確認 ・ 下校班担当の紹介	・ 下校先(班)の確認	・ 下校先(班)の確認
備考			・ 下校指導①	・ 下校指導②	・ 下校指導③
					・ 今週の生活を振り返る

環境づくり

クラスに子どもを迎える準備

クラスの壁面を飾って楽しい雰囲気作りをするなど、楽しい学校生活のスタートが切れるようにする。

掲示物を使ってわかりやすく

朝の準備を絵や文字で表したり、声の物差しを用いたりして、視覚的に示しながら指導する。

親しんできた遊具や用具を使っ

て
幼・保・こども園で使ってきた遊具や道具を用意し、遊んできたことなどを取り入れる。

いよいよ勉強！自分で生活！

授業に向かう意識や態度を身につけ、楽しく学習する。また、幼稚園やこども園、保育園との違いに気づき、小学校での学習に対する好奇心を高める。

ねらい

- 学校での生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。
- 授業中は、自分の席に座り、教師や友だちの話をしっかりと聞く。
- 学習の流れを知り、学習への意欲をもつ。
- みんなで楽しく給食を食べることができる。

幼・保・こども園の経験をもとに

- 朝の準備など、身の回りのことを自分でする。
- 自己紹介をしたり、さまざまな場面で自分の考えや思いを言葉で相手に伝えたりする。
- しりとりなどの文字遊びや、友だちとのつながり遊びを活かす。
- 正しい箸の使い方を確認し、楽しんで給食を食べる。

生活の視点

なかま

- クラスの友だちと遊びや生活をともにする中でかわりを広げる。
- 教師が話す時には、聴く姿勢を保ち、話の内容をしっかりと理解する。
- 給食の準備や係の仕事などで、友だちと声をかけあいながらスムーズにできるようにする。

げんき

- 時間の区切りがあることを知り、時間を意識して行動する。
- 授業準備(教科書、ノート、筆記用具などを机の上に出す、休み時間にトイレに行く)をする。
- 休み時間と授業時間の切り替えができ、集中して授業を受ける。

じぶん

- 自分の名前を相手に知ってもらい、相手の名前も覚えることで親しみを深める。
- 自分の思いや考えを、はっきりと相手に伝わるように自分の言葉で伝える。
- クラスの友だちの良いところを見つけ、親しみをもち、
- 集団生活の中で、周りの状況を理解しながら、自分で考えて行動する。

まなび

- 学校生活で出会う言葉や文字、数や数量に対して好奇心をもち、理解しようとする。
- 簡単なひらがなや数字遊びを通して楽しく学ぶ。
- 正しいえんぴつのもち方や文字の書き方、正しい発声の仕方を身につける。

家庭・地域

- 登下校の際には、地域住民と連携しながら子どもの安全の確保につとめる。
- 学校で教えていること(えんぴつのもち方など)を保護者にも伝え、家庭と一緒に身につけさせていく。

幼・保・こども園

- 幼稚園や保育所で取り組んできた遊びを通して学びの内容について共有し、小学校での教育課程に活かしていく。

小学校

- 教師間で子どもの様子に対する情報交換を行い、指導内容の改善・工夫を行う。

指導のポイント

楽しみながら、学校生活に慣れ親しめるようにする

学習規律を教える

給食指導を通して給食に興味をもたせる

- 授業や生活の中で、遊びの要素を取り入れながら活動し、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。
- 授業や遊び、生活の中で、子どもができたことを認め、自信をもたせる。
- 学校での基本的な生活の仕方を丁寧に伝え、確実に身につけさせる。
- イスの座り方やえんぴつのもち方などを繰り返し丁寧に指導する。
- 「～です」「～ます」を使った発表の仕方を教える。
- 運筆や音読などの学習を行い、学ぶ意識を高める。
- 安心して給食を食べられるように個々に配慮する。
- 箸、食器の正しい使い方を知らせる。
- 決められた時間内に食べられるよう見通しをもたせる。

時間割

4月13日(月)～17日(金)

	13	14	15	16	17
	月	火	水	木	金
朝学習	・6年生との交流(読み聞かせ・手遊び・効果・学校クイズなど) ・朝の活動(登校したら) ①ランドセルを机に置き、ジャンパーと帽子をコート 掛けにかける。 ②提出物を所定の場所に出し、学習用具を机の中に入れ、ランドセルをしまう。 (ロッカーの使い方) ③朝のあいさつ・今日の連絡・健康観察・連絡帳の内容確認(下校先の確認)				
1	こくご	ずこう	こくご	こくご	たいいく
	おはなしききたいな 音読、読み聞かせ	ずきなかたちやいろなあに 線の引き方、色の塗り方	おはなしききたいな 音読、読み聞かせ ひらがな「く」	なんていおうかな 音読、読み聞かせ ひらがな「つ」	からだつくりのうんどう 体ほぐし、運動遊び なわとび(とび縄の調整、結び方)
2	ぎょうじ	こくご	おんがく	どうとく	こくご
	視力検査	おはなしききたいな 音読、読み聞かせ	手遊び歌、校歌、ちょうちょなど どんなうたがあるかな	あかるいあいさつ	なんていおうかな 音読、読み聞かせ ひらがな「い」
長休み	ふれあい遊び・集団遊び(児童観察)				
3	さんすう	さんすう	たいいく	さんすう	さんすう
	くらべたことがあるかな おおいのはどっちかな	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう	からだつくりのうんどう 体ほぐし、運動遊び なわとび(とび縄の調整、結び方)	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう
4	スタートタイム(余剰)	スタートタイム(余剰)	スタートタイム(余剰)	スタートタイム(余剰)	スタートタイム(余剰)
	給食指導 給食の準備とマナー	給食指導 給食の準備とマナー	給食指導 給食の準備とマナー	給食指導 給食の準備とマナー	給食指導 給食の準備とマナー
備考					

環境づくり

子ども・教師との関わり

長い休み時間には、担任は子どもと一緒に運動場に出たり、教師間の連携を密にしたりし、教室以外で過ごす子どもの安全を確保する。

図や文字を掲示する

椅子の座り方や鉛筆の持ち方、受け答えの仕方などを図や文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。

楽しく給食できる環境づくり

机をくっつけるなど、子ども同士で楽しく食べられるように工夫する。食材や献立表を掲示し、食や栄養に関する興味・関心を高める。

テーマ

お仕事、始まるよ! ~勉強も頑張ろう!~

給食や朝の会などの際に、当番としての役割を理解し、自分から行動する。また、基本的な学習規律を身につける。

ねらい

- 友だちと協力してさまざまな活動に取り組む。
- 一人一人が自分の役割を理解し、責任をもって自ら行動する。
- 学習環境を整えて、スムーズに勉強できるようにする。
- 当番(日直、給食)や清掃の仕方を知り、仕事をやりきる心地良さを感じる。

幼・保・こども園の経験をもとに

- 朝の身支度を始め、基本的な生活習慣が身につく。
- 道具や身近なものを使って数を数えたり、鉛筆を使って文字や数字を書いたりして遊ぶ。
- 絵本を読むことを通して、文字や言葉にふれる。
- 自分が経験したことを、友だちの前で話す。

生活の視点

なかま

- 教師や友だちの話を正しい姿勢で、しっかりと聞く。
- 友だちに話をきいてもらえる安心感を覚え、親しみをもって行動する。
- 給食の準備や係の仕事などで、友だちと声をかけあいながらスムーズにできるようにする。

げんき

- 身の回りのことや給食の準備、後片づけなどを自分で考えて行動する。
- 学校のルールを理解し、守りながら楽しく過ごす。
- 食材や、それを育てている人、調理している人に感謝の気持ちを持ち、好き嫌いをせずに食べる。

じぶん

- 自分が体験したことや思ったことを自分の言葉で伝える。
- 友だちと一緒にいることに楽しみを感じ、相手の良いところを見つけ、かかわりを広げ、深めようとする。

まなび

- ノートや色えんぴつなどの学習用具の正しい使い方を身につける。
- これまでの生活や遊びの経験を小学校の学習につなげたり、活かしたりしながら積極的に学ぼうとする。
- 取り組むことが決められた時間内は、そのことに集中して取り組む。
- 声を出すことによって、正しい言葉づかいや文字を覚える。

家庭・地域

- 授業参観や学級懇談会で知った保護者の思いや願いと、現在の子どもの姿をすり合わせ、家庭と連携した教育につなげる活動を考える。

幼・保・こども園

- 幼・保・こども園の保育者も授業参観に参加してもらい、就学前教育・保育と 小学校教育の違いや、共通することについて理解をはかる。

小学校

- 生活科を中心とした、合科的・関連的指導の仕方を話しあう。
- 学年で授業の進め方や内容を統一する。

指導のポイント

学校生活の仕方を教える

- 保健室・体育館・図書室などの場所を教え、**使い方やそこでのルールを伝える。**

学習規律を身につけさせる

- 時間の区切りを知らせる。
- 正しい座り方や受け答えの仕方を身につけさせる。**
- ノートや筆箱などの**教材の置き方・使い方を知らせる。**
- 時計の針を意識して行動できるように指導する。**

協同的な学習活動を 経験させる

- さまざまな学習活動を友だちと一緒に頑張れるように、**グループ学習や協同して学ぶ場を設定する。**

自分の役割を意識させ 協力関係をつくらせる

- 学習の中での発見や課題を解決した喜びを友だちと共有できるようにする。
- 当番活動や班活動においては互いに協力しながら取り組むように声かけをする。**
- 給食当番や係の仕事に責任をもって取り組むように指導する。

時間割

4月20日(月)～25日(土)

	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土
朝学習	・6年生との交流(読み聞かせ・手遊び・効果・学校クイズなど) ・朝の活動(登校したら) ①ランドセルを机に置き、ジャンパーと帽子をコート 掛けにかける。 ②提出物を所定の場所に出し、学習用具を机の中に入れ、ランドセルをしまう。(ロッカーの使い方) ③朝のあいさつ・今日の連絡・健康観察・連絡帳の内容確認(下校先の確認)					
1	こくご	ぎょうじ	さんすう	こくご	たいいく	おんがく
	こんなものみつけたよ ひらがな「ち」	聴力検査	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう	図書館指導	からだづくりのうんどう 体ほぐし、運動遊び なわとび	手遊び歌、校歌、ひらいたひらいたなど どんなうたがあるかな
2	たいいく	こくご	しょしや	ぎょうじ	さんすう	こくご
	からだづくりのうんどう 体ほぐし、運動遊び なわとび(とび縄の調整、結び方)	こんなものみつけたよ ひらがな「あ」	いろいろなせんをかこう	交通安全教室	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう	どうぞよろしく
3	さんすう	さんすう	こくご	さんすう	こくご	学年・学級懇談
	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう	うたにあわせてあいうえお ひらがな「い」	なかまづくりとかず 同じ数の仲間をさがそう	うたにあわせてあいうえお ひらがな「え」	
4	せいかつ	せいかつ	こくご	たいいく	ずこう	PTA総会
	わくわくどきどきしょうがっこう どんな先生がいるかな	わくわくどきどきしょうがっこう どんな先生がいるかな	うたにあわせてあいうえお ひらがな「う」	からだづくりのうんどう 体ほぐし、運動遊び なわとび(とび縄の調整、結び方)	ねんど	
備考						

環境づくり

学習規律の統一

学校内で異なる授業においても学習規律を統一して指導することで、子どもへの定着を図る。

友だちを知るきっかけづくり

自己紹介カードや、名刺交換遊びなどを通し、友だちのことを知り、関わりを深めるきっかけにする。

時間割・ルールの掲示

一日や一週間の見通しをもった学校生活を送れるように、授業内容なども記載した時間割を掲示する。授業中や休み時間などのルールを掲示する。

テーマ

お仕事、勉強 頑張ろう! ～遠足に行くよ～

時間割に基づく学習活動を理解し、さまざまな学びに対する好奇心や意欲をもって、友だちと一緒に楽しみながら取り組む。学校生活のルールを知り、身につける。

ねらい

- 時間割をもとに学習活動の流れをイメージし、時間を意識しながら行動する。
- 学習に対する好奇心や意欲をもって取り組み、学びを楽しむ。
- 話をしたり聞いたりする姿勢を身につけ、集団生活を送るうえでのきまりを知る。
- 掃除当番の仕方を知り、仕事をやりきる心地良さを感じる。

幼・保・こども園の経験をもとに

- 時計を意識し、一日の見通しを立てて行動する。
- 言葉遊びを通して、読み書きに興味・関心をもつ。
- 図鑑や絵本を活用したり、実際に戸外で探したりして虫や植物への興味・関心をもつ。

生活の視点

なかま

- 周りの状況に応じて、相手に伝わるように声の大きさを調整する。
- 相手の意見を尊重しながら協同性をもって、学習活動や遊びを楽しむ。
- 学校の友だちと学校外でも遊べるようになる。
- 給食の準備やそうじなどで、友だちと声をかけあったりしながらスムーズにできるようにする。

げんき

- 授業のルール(手をあげて発表する、「ハイ」と返事をする、椅子に正しく座るなど)を身につける。
- 学校生活のルール(学習が始まる時間には着席など)を身につける。
- 授業時間と休み時間のけじめをつけ、休み時間は友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。

じぶん

- 自分の意見や考えをもつとともに、相手の意見を尊重する。
- 友だちと一緒にいることに楽しみを感じ、かかわりを広げようとする。
- 自分がこれまで経験してきたことを活かしたり、自分の得意なものを新たに見つけたりする。
- 生活科を中心とした学習活動の中で、自然を観察し、生命の大切さを実感する。

まなび

- ノートや色えんぴつ、定規などの学習用具の正しい使い方を身につける。
- ノートを活用して、文字や言葉を正しく書き写すことを身につける。
- 取り組むことが決められた時間内は、そのことに集中して取り組む。
- 簡単な宿題(お手伝いやあいさつなど)を通して、親子学習の基礎を作る。

家庭・地域

- 家庭との連絡を密にし、家庭での生活態度や配慮が必要なことなどについて把握する。
- 宿題の習慣を身につけるように、保護者にも呼びかける。

幼・保・こども園

- 保育者と小学校での授業中の子どもの様子などを情報交換し、時間割に応じた生活や授業中の態度など、就学前に身につけさせたいことを共有する。

小学校

- 生活科を中心とした、合科的・関連的指導の仕方を話しあう。
- 学年で授業の進め方や内容を統一する。

テーマ

友だちの輪を広げよう～運動会練習が始まるよ～

学習や休み時間での遊びなどを通して、教師や友だちとの関係を深める。教科学習の基本的な学習の仕方を身につけ、話す・聞く・書くといった学びを友だちと楽しみながら取り組む。学校生活のルールを知り、身につける。

ねらい

- 学校生活や授業の流れを理解し、自分で行動できるようになる。
- 教科書の音読やノートの取り方など、教科学習の取り組み方がわかる。
- 担任とのかかわりを深め、周りの教師を知る。
- クラスの子どもたちを認識し、友だちとしてのかかわりを広げる。

生活の視点

なかま

- 席替えや外遊びを通して、クラスの子どもたちとふれあい、友だちとの関係を広げていく。

げんき

- 学校生活のルールを身につける。一日の学校生活の流れを見通す。
- 運動会練習などを通して、話をきく姿勢を身につけたり、並び順を理解したりする。
- 給食の準備や後片づけ、掃除の仕方に慣れる。

じぶん

- 音読やスピーチを通して、みんなの前で発表しようとする意欲をもつ。異学年や教師とのかかわりを通して、校内にあるさまざまなものや場所、学校生活を支えている人などを知る。

まなび

- 教科書を使って、教科学習に取り組む。黒板の字をノートに書き、文字・数字を書く楽しさを感じる。
- 朝読書の時間にさまざまな本にふれ、読書の楽しさを感じる。

指導のポイント

- 時計を意識して行動できるように促す。
- 音読やノートの取り方を、繰り返し指導する。
- 子ども同士の間関係が広がるよう促す。

環境づくり

- マス黒板など視覚的にわかりやすい掲示物を多用する。
- 授業時間だけでなく、休み時間も人間関係が広がるよう、みんなで遊びを取り入れる。

- 言葉や文字、数字をかくことに対する興味・意欲を高める。
- 集団行動のルールや態度を身につける。

生活の視点

なかま

- 教師の話や指示をしっかりと聞き、遊びを通して友だちとの関係を深める。

げんき

- 全体で指示を聞き、自分で行動できる。
- 集団行動(ルール・準備物)の仕方を学ぶ。

じぶん

- 自分の考えや思いをみんなの前に出て伝えようとする。

まなび

- 言葉集めを通して、多くの語句にふれたり、短い文をつくったりできる。
- たし算・ひき算を学習し、計算への興味・関心をもつ。

指導のポイント

- 子どもの興味・関心が高まるように、教材を工夫する。
- 生活や学習の流れの見通しを感じて、行動できるように指導する。
- 宿題や提出物、学習用具などの忘れ物が多い子どもの保護者と連絡をとり、安心して生活するために忘れ物をしないよう協力を依頼する。

環境づくり

- 間違いやつまづきを活かす指導を心がけ、子どもに寄り添いながら学習を展開する。

1年生 7月～夏休み前

テーマ

学びを振り返ろう！楽しい夏休みまでもう少し

ねらい

- 前期前半の学習をまとめて振り返る。
- 自ら健康や安全に気をつけて生活することを意識する。(水泳学習のルールを理解する。)

生活の視点

なかま

- 友だちと約束し、学校外でも友だちとの関係を広げる。

げんき

- 夏休みの過ごし方を理解し、楽しく安全に過ごすようにする。

じぶん

- 前期前半の生活を振り返り、自身の努力や成長を実感する。

まなび

- 前期前半の学習が定着する。絵日記のかき方を学び、自分の思いを文章にする。

指導のポイント

- これまでの学習内容のまとめを通して、学習の定着を促す。
- 習ったひらがなを使って、自分の思いを表現する楽しさを感じさせる。

環境づくり

- 前期前半の学習を振り返るシートを活用して、子ども自身が成長を実感できる機会をもつ。
- 人間関係の広がりやさまざまな行事を通して学んだことなどを、互いにわかちあえる場を設ける。